



春がきました

冬も終わって、チリは春の季節に入りました。日本の春と同様に朝晩は冷え込むためダウンは欠かせません。それでも昼間は気温が30℃近くまで上がるのでTシャツ一枚でもちょうど良いです。こちらの天気はというと、たまに曇りの日があり、それ以外はほとんど晴れです。というのも私の任地は地域的に雨がほとんど降らないです。昔はある程度降っていたそうですが、ここ数年は気候変動の影響か年に数回程度しか降らなくなったそうです（去年は3回）。熊本にいたときは嫌だった雨が今は少し恋しいです。



任地プニタキの街並み
プニタキは町全体が小さな丘（写真奥）に囲まれている。

チリの印象について

真面目で勤勉

活動の中で感じた事の一つとして、意外にチリ人は勤勉でよく働く人が多いなと思います。なおこの「意外」と思ってしまうのには理由があって、一般的にラテン系の人たちは仕事に対しては結構適当な部分があると聞くことが多かったからです。しかしそれは想像していたほどではありませんでした。時間にルーズだったりといい加減さを感じる場面も多少はありますが基本的には真面目に黙々と仕事をこなしている印象があります。

仕事とプライベート

チリ人の仕事との向き合い方は日本とはかなり違う気がします。日本のように仕事中心で生きているような感じは絶対にはありません。勤務先の市役所は退庁時間が17時30分なのですが時間になると職員はすぐに帰宅します。18時頃には役所の門が閉まってしまうので遅くまで残っている人もいないと思います。また金曜は閉庁時間が16時30分なので仕事のある平日でもプライベートの時間が結構あります。役所では個人経営のようなお店は夕方には既に閉まっていたり、日曜日は定休日だったりします。チリは社会全体が仕事よりもプライベートを優先していると感じます。



勤務先のプニタキ市役所
出先機関には保健センター、サッカー場、文化センターなど。

あとがき

早いものでこっちに来て3ヶ月が経ちました。この調子だと2年間もあっという間に迎えそうです。この3ヶ月は任地の生活に慣れること、町の現状把握が中心でした。今後の予定としては活動計画を立て、活動準備を進めていく予定です。残された時間は案外少なかったりするので今日1日を大事に過ごしていきたいと思います。¡Vamos!